

国際化学肥料ニュース（2022年4月）

肥料業界の2022年4月動態

- * オーストラリアの Agrimin 社はアメリカの Gavilon Fertilizer 社と開発中の Mackay Potash プロジェクトから年間 5 万トン硫酸加里を供給するオフテイク契約を締結したことを発表した。Agrimin は現在、年間合計 31.5 万トンの硫酸加里オフテイク契約を締結しており、Mackay Potash プロジェクトの年間計画生産能力 45 万の 70% に相当する。Mackay Potash プロジェクトは順調に進捗し、2023 年最初に製品を出荷する計画である。

- * アメリカの Michigan Potash & Salt 社はアメリカに本拠を置く農業会社とミシガン州 Evart 近郊に計画されている加里プロジェクトフェーズ 1 の年間 65 万トン塩化加里を販売・流通させるためのオフテイク契約の締結を発表した。Michigan Potash & Salt 社は、この加里プロジェクトが建設と運営のための資金調達の最終段階に進んでいる。

- * 4 月第 1 週（4 月 4～10 日）の尿素国際相場は記録的な高値によって市場の需要低迷で、2 か月ぶりに下落した。エジプト産尿素は先週と同様の FOB 1130 ドル/トンを要求するが、中東と東南アジア産尿素は約 FOB 945～950 ドル/トンに若干下がってきた。ブラジルでは、オフシーズンに入ったため、需要が弱く、CFR 900 ドル/トン半ばに低下した。南北アメリカの他の場所でも需要は冷え込んでいる。アメリカの湾岸地域では、悪天候のためエンドユーザーの購入行動が停滞しており、肥料業者はすでに多量の在庫を抱えて、新規購入の意欲はほとんどない。
現在、尿素市場関係者は、インドの IPL が新しい尿素的の国際入札の発表を待ち続けている。特にロシア産尿素が次の入札でインドに販売できるかに注目を集めている。

- * アメリカの CF Industries 社の CEO Tony Will 氏はロシアからの化学肥料供給減少に対応して、南米向けに窒素肥料の輸出量を増加する考えを公表した。CF Industries 社は北米最大の窒素肥料メーカーで、北米だけで年間窒素肥料生産量が 700 万トンを超えている。

- * アメリカの Incitec Pivot 社はルイジアナ州にある Waggaman 工場のアンモニアプラントが修復され、正常に稼働し始めたと発表した。今年 2 月 22 日、Waggaman 工場アンモニアプラントの配管が破裂し、水素を放出した事故で稼働を停止した。この事故の影響で、純利益では約 3200 万ドルの損失が出た。

* 中国税関の速報によれば、2022年3月の化学肥料輸出量161万トン、その内訳は硫酸76万トン、尿素7万トン、DAP38万トン、MAP10万トン、化学肥料輸出時の「法定検査」が若干緩くなった。2022年第1四半期の化学肥料輸出量が33.2%減の415万トン、硫酸だけが8.9%増の236万トン、ほかの肥料がすべて減少した。そのうち尿素が62.2%減の30万トン、DAPが19.1%減の74万トン、MAPが65.6%減の20万トン。

一方、2022年3月の中国化学肥料輸入量80万トン、その内訳は塩化加里64万トン、NPK化成肥料14万トン。2022年第1四半期の化学肥料輸入量が17%減の244万トン、特に塩化加里輸入量が18.1%減の210万トン、中国国内塩化加里価格高騰の原因となっている。

* 4月第3週（18～24日）の尿素国際市場は平静さを保っている。インドは予定している尿素的国際入札を延期したことに加え、アメリカと南米は需要期を過ぎたことで新規購入の動きが鈍く、尿素的国際相場が低下し続けている。

東半球では最大の尿素トレーダーは市場に戻った。4月21日にインドIPL社が2月の尿素的国際入札で応札したが、供給されなかった78,000トンの尿素を確保するために補充の入札を行っているが、大型の尿素的入札ではない。中東では5月の出荷に向けて大量生産された尿素がまだコミットされていないため、FOB価格を下げる以外に選択肢がないようである。エジプト尿素はFOB930ドル/トン売り出して、1ヶ月ぶりに1,000ドル/トンを下回った。

西半球ではアメリカのCFR Nola価格は主要な作物栽培地域の悪天候が農家の肥料購入意欲を失墜させているため、1週間で15%も下落した。過去2週間にニューオーリンズから南米を目的地に尿素的再輸出が行われている噂がある。CFRブラジルも1000ドル/トンを下回っている。ヨーロッパの需要がほぼ終わり、アルジェリアは1ヶ月前より300ドル安いFOB885ドル/トンで3万トン尿素を売り出している。

すべての主要な尿素生産・輸出地域の関係者は、5月に在庫の大部分をクリアする大規模な購入を期待して、次のインドの入札を熱心に待ち続けている。

* 中国政府は化学肥料輸出に実施している「法定検査」を緩くした模様。3月にはDAP38万トン、MAP10万トン、尿素7万トンを輸出した。4月には尿素約20万トン、DAP約30万トン、MAP10万トン超の輸出が認められるようである。また、「法定検査」を6月末に終了させる噂もある。

* 4月21日、インドIPL社が東海岸3.3万トン、西海岸4.5万トンの計7.8万トンの尿素的入札を発表した。これは今年2月行った尿素的国際入札で応札し、契約したAmber社が最終に供給できず、キャンセルした数量である。4月26日締め切り、5月15日まで船

積みという条件である。開札した結果、4社が応札して、最低応札価格がOQ Trading社のCFR東海岸716.50ドル/トンとCFR西海岸750ドル/トンである。

* 4月第4週(24~30日)の尿素国際相場は小幅の下落が続いている。最近の尿素国際相場下落を反映して、インドIPL社の7.8万トン尿素入札に応札した4社の応札価格がCFR東海岸716.5~819.5ドル/トン、CFR西海岸750~870ドル/トンである。今週中東の生産者はFOB720ドル/トン台で売り出して、1ヶ月前より約200ドル/トン下がった。また、中国「法定検査」が緩くなり、尿素的大量輸出が再開されるうわさがある。最新の消息によれば、インドが今週末か5月第1週に購入数量100万トンの大型尿素国際入札を発表する予定である。現在、中東と北アフリカの生産者はこの入札の発表を待っている。

西半球では、アメリカが3月下旬に記録したCFR Nola938ドル/トンの価格が4週間後の4月下旬に650ドル/トン台に下落した。同様の状況は南米と西欧にも見られた。

* ベトナム税関の機関紙の報道によれば、ベトナム政府は国内肥料の安定供給を守るために、化学肥料の輸出を一時的に停止する考えがある。2月下旬ロシアからウクライナへの侵攻以来、ベトナム国内化学肥料販売価格が平均で25%も上がった。ベトナムは東南アジア最大の化学肥料輸出国で、2021年の化学肥料輸出力135万トン、主にカンボジア、フィリピン、ミャンマーに輸出している。今年1~2月の輸出力が69.9%増の35.3万トン、3月も多量の輸出が続いて、国内供給に支障が出た。

* ロシア総統府4月27日の発表によれば、ロシアのプーチン大統領は化学肥料の輸出規制を8月31日までに延長することを指示した。

* 4月28日、インドRCF社が新しい尿素国際入札を発表した。5月11日締切、7月5日まで船積みという条件である。予定購入数量150万トン。これは今年インド2回目の尿素国際入札である。

* ベトナム通信社4月27日の報道によれば、ベトナム財務省が国内化学肥料の価格上昇を抑え、国内供給を保障するために、化学肥料に対して一律5%の輸出関税を徴収する案を政府に提出した。ベトナムは東南アジア最大の化学肥料生産国で、化学肥料生産能力2925万トン、2021年の輸出力135万トン、2022年1~2月だけで35.3万トンも輸出した。

大手各社の営業業績

* ノルウェーの Yara 社は 2022 年第 1 四半期の業績を発表した。EU の天然ガス価格の高騰により、生産に悪影響を及ぼす結果、生産量はアンモニアが 3.9%減の 172.3 万トン、化学肥料が 5.8%減の 486.3 万トン。販売量もアンモニアが 3.3%減の 44.3 万トン、化学肥料が 11.0%減の 610.2 万トン。ただし、販売価格の高騰で、営業利益が 322.7%増の 10 億 3900 万ドル、株主に帰属する純利益が 7261.5%増の 9 億 4400 万ドル。

* カナダの Nutrien 社は 2022 年第 1 四半期の業績を発表した。肥料部門では加里肥料販売量が 4%減の 304.3 万トンだが、平均販売価格が 213%高い 608 ドル/トンであるため、売上高が 203%増の 18 億 5000 万ドル。窒素肥料販売量が 6%減の 226.5 万トンだが、平均販売価格が 171%高い 645 ドル/トンで、売上高が 155%増の 14 億 6200 万ドル。リン酸肥料販売量が 10%減の 46 万トン、平均販売価格が 89%高い 854 ドル/トンで、売上高が 71%増の 3 億 9300 万ドル。会社全体では EBITDA が 224%増の 26 億 1500 万ドル、純利益が 941%増の 13 億 8500 万ドルに達し、史上最高記録である。

また、2022 年は加里肥料生産能力を 100 万トン増強して、加里肥料販売量を 1450～1510 万トンに引き上げる。その一方、天然ガスの価格高騰および第 1 四半期に発生した計画外のプラント停止の影響で、窒素肥料販売量を 1070～1100 万トンに引き下げると予測される。

* アメリカ最大の窒素肥料メーカー CF Industries 社は 2022 年第 1 四半期の業績を発表した。1～3 月のアンモニア生産量が 5.4%増の 261.3 万トン、販売量が 6.4%増の 72.7 万トン、尿素生産量が 9.3%減の 107.4 万トン、販売量が 17%減の 109.6 万トン、UAN（尿素硝安液肥）生産量が 10.4%増の 186.5 万トン、販売量が 20.7%増の 182.8 万トン、硝安生産量が 14.7%減の 10.5 万トン、販売量が 2.3%減の 42.8 万トン。販売価格が大幅に上がったため、総売上高が 173.7%増の 28 億 6800 万ドル、EBITDA が 320.9%増の 16 億 7500 万ドル、純利益が 484.8%増の 8 億 8300 万ドル。ともに最高記録である。

肥料資源の探索と肥料プラント新規建設

* ブラジルの Verde AgriTech 社は 3 番目の加里肥料工場（プラント 3）の許可と建設に必要な調査を開始したと発表した。Verde AgriTech 社はブラジルの海緑石（加里を含有するケイ酸塩鉱物）を原料として、粉碎して BAKS®および KForte®の加里肥料として販売している。すでに稼働しているプラント 1 の年間生産能力 60 万トン、2022 年第 3 四半期稼働予定のプラント 2 の生産能力 240 万トンがある。プラント 3 は生産能力 30 万トン、2023 年第 2 四半期に建設開始、2024 年末に完成し、稼働させる計画である。

その他

- * 4月7日、中国政府は石油化学工業に対する指導意見を発表した。その中にりん安、黄燐の新規プラントの建設と既存プラントの増設を厳しく抑制する内容がある。

- * アメリカの **Keras Resources** 社は **Falcon Isle** 社からアメリカユタ州ソルトレークシティ近郊にある **Diamond Creek** りん鉱山と処理施設の 49%株式を 320 万ドルで買収し、100%の完全所有権を取得したと発表した。 **Diamond Creek** りん鉱山プロジェクトは露天採掘可能なりん鉱石資源 506 万トンと地下潜在りん鉱石資源 785 万トンがあり、すでに稼働して、60 年間の採掘に耐えるという。

- * ロイター通信社の報道によれば、アメリカ商務省はロシアのウクライナ侵攻に対応して、ロシアとベラルーシに対する輸入規制を拡大すると発表した。その内容は、肥料やパイプバルブなどの輸入に特別な免許を取得することを要求し、それらの輸入を拒否することができるという。